

TestRail Backlog欠陥プラグイン

- 更新日：2023年9月22日
- プラグインバージョン：1.2.0

更新履歴

- 2021/04/28 :
 - 新規作成
- 2021/07/17:
 - 設定例の欠陥追加URLを修正
- 2021/09/22:
 - 添付ファイルに対応（TestRail 7.0以降が必要）
- 2021/10/19:
 - マニュアルリンク先を変更
- 2021/11/04:
 - プラグインバージョンを更新
- 2023/07/11:
 - TestRail8.0.0に対応
- 2023/09/22:
 - マイルストーン/発生バージョンに対応

環境

- 以下のバージョンにて動作確認済です。
 - TestRail: 7.0.1.1015, 8.0.1.1029
 - Backlog: クラウド版 2023/09/22時点

概要

- TestRailにてテスト結果を登録する際に、Backlogの課題を作成（ブッシュ）します。
- TestRail上からBacklogの課題情報を閲覧します。

注意事項

- Backlogの課題登録時に以下のフィールドを利用できます。* は必須です。
 - 件名 *
 - プロジェクト *
 - 分類(タスク、バグなど)
 - カテゴリー *
 - 優先度 *
 - マイルストーン
 - 発生バージョン
 - 課題の詳細

○ 添付ファイル



- Backlogのカスタムフィールドには対応していません。
- 添付ファイル名に日本語が含まれている場合、添付すると日本語文字が _ に変換されます。また、ファイル名の頭にTestRailの添付ID（連番）が追加されます。
 - 例
 - 添付したファイル名：csvインポート.csv
 - 実際に添付されるファイル名：49.csv____.csv

導入手順

1. スクリプトの配置 (オンプレミス版のみ)

- 以下の場所にスクリプトを配置します。フォルダが存在しない場合は作成してください。

```
<testrail-root>/custom/defects
```

2. ユーザー変数の追加



- Backlogに課題を登録する際に、課題の作成者を個別のユーザーとする場合は、ユーザー変数を追加します。ユーザー変数にBacklogのAPIKeyを登録できるようにし、TestRailのユーザーごとに異なるAPIKeyを設定できるようにします。
- [管理] > [統合] を開き、画面下部の [ユーザー変数の追加] を選択します。
- 画像のように、ユーザー変数を指定します。
 - ラベル：任意のもの（例：BackLogのAPIキー）
 - システム名：英子文字（例：backlog_api_key）
 - タイプ：文字列
- 参考：[ユーザー変数](#)

3. 連携の設定

Backlogプラグインの選択

ダッシュボード

プロジェクトの編集

プロジェクト、ユーザー、グローバル設定を管理します。

プロジェクト アクセス **欠陥** 参照

概要

プロジェクト

ユーザーとロール

カスタマイズ

統合

ライセンス

システムログ

サイト設定

欠陥表示 URL

欠陥トラッカー内のケースの Web アドレスです。実際のケース ID のプレースホルダーとして %id% を使用します。グローバル設定を使用する場合は空のままにします。 [詳細](#)

欠陥追加 URL

欠陥トラッカーに新規ケースを追加するための Web アドレスです。グローバル設定を使用する場合は空のままにします。 [詳細](#)

欠陥プラグイン

TestRail と欠陥トラッカーを統合するためのプラグインです。グローバル設定を使用する場合は空のままにします。プラグインの設定は下で行うことができます。 [詳細](#)

[connection]
address=https://<mysubdomain>.backlog.com/
api_key=%backlog_api_key%

欠陥トラッカーとセキュアな接続を行うために、HTTPS を使用してください。ユーザーおよびパスワードを安全に保存するため、ユーザー変数を使用することが推奨されます(ユーザーごとにログインをカスタマイズするのにも使用できます)。 [詳細](#)

▶ 欠陥ダイアログの説明フィールドに表示されるテンプレートを入力します。

✓ プロジェクトの保存 ✕ キャンセル

- TestRailのプロジェクト個別に連携の設定を行う場合は、TestRailからプロジェクトを開き、画面右上の[編集]ボタンから、[欠陥]タブを開きます。
 - TestRail上のすべてのプロジェクトで同じ設定を使う場合は、[管理] > [統合] の[欠陥]タブから設定を行います。
- [欠陥プラグイン]のプルダウンから **Backlog** を選択してください。

プラグインの設定

- <yoursubdomain> や <yourprojectname> はお使いのBacklogに合わせて変更してください。
- URLの指定をします。

```
欠陥表示URL : https://<yoursubdomain>.backlog.com/view/%id%  
欠陥追加URL : https://<yoursubdomain>.backlog.com/add/<yourprojectname>
```

- プラグインの詳細設計をします。

```
[connection]  
address=https://<yoursubdomain>.backlog.com/  
api_key=%backlog_api_key%
```

- api_keyにユーザー変数を指定した場合は、作成したユーザー変数のシステム名を%で囲んだ文字列を指定ください。

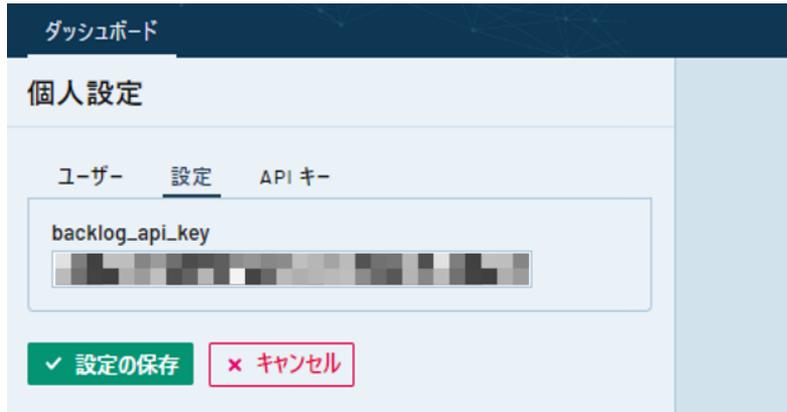
利用手順

1. 個人設定でBacklogのAPIキーを設定

- TestRailユーザーごとに実施してください。事前にBacklog上にて、APIキーを発行する必要があります。
- TestRailの画面右上から、ログインしているユーザ名 > [個人設定] を選択します。



- [設定] タブから、バックログのAPIキーを設定します。



動作イメージ

- テストランの結果登録時に、欠陥のプッシュを実行するとBacklogの課題を作成します。



欠陥のプッシュ

件名*

Failed test: インラインテーブルのスペースとインデントの計算を確認する

プロジェクト* 種類* 優先度*

testrail-test タスク 高

カテゴリ

GUI

マイルストーン

Ver3.0

Ver2.0

Ver1.0

Ver2.0

課題の詳細

T4036: インラインテーブルのスペースとインデントの計算を確認する
http://localhost:8000/index.php?/tests/view/4036

ファイルを添付するには、ここにドロップするか、クリックして参照します。

登録 キャンセル

- テスト結果の欠陥にマウスオーバーすると作成した課題の内容が表示されます。また、リンクをクリックするとBacklogの画面を開きます。



IssueType	Status	Project
タスク	未対応	TESTRAILTEST
Category	Milestone	
GUI	Ver3.0	

T4036: インラインテーブルのスペースとインデントの計算を確認する
http://localhost:8000/index.php?/tests/view/4036

以上